

宣教困難な日本で 神の恵みを証する

35年間のバングラデシュ宣教から 日本の伝道を考える一日



とみおか まさし
講師：富岡 昌 先生

1990年10月、ご家族とともにバングラデシュに医療宣教師として入国
35年間、医療宣教師として病院・巡回医療・教会形成・児童教育などに携わる。
2026年4月に日本に帰国なさいました。



2026年

11月3日 火 祝

午前10時～午後3時

会場 習志野バプテスト教会

参加費 500円

昼食は各自でご持参ください

女性もご参加ください！

3つの分科会で本音を語り合う！

1 宣教師夫人としての働き

- ・宣教地での生活、子供の教育
- ・ご主人をどのように支えて来たか
- ・宣教師を送り出す側への願い
- ・これから海外宣教を志す次世代への期待

2 地域・職場での証と伝道

- ・職場や地域での証し、個人伝道について
- ・成功談も失敗談も大歓迎

3 どうすれば日本宣教が祝福されるか

- ・クリスチャン人口1%の壁を破る？
- ・伝道が祝福された実例
- ・外国人宣教師から見た日本宣教
- ・海外と日本の宗教の類似点と相違点
- ・海外の教会事情や宣教事情

イスラム教徒が多数を占めるバングラデシュで、医療活動や教育をとおして福音を伝えてこられた富岡先生ご夫妻。

どのように人々と関係を築き、福音を伝え、神の恵みを証してこられたのか——その歩みから、私たちの日本での宣教を考えましょう。

聖書のメッセージを聞くだけの会ではありません。

35年間のバングラデシュ宣教のリアルを聞き、それをもとに、これからの宣教や地域や職場や教会での伝道をみんなで考える機会です。

- ✓ 伝道って実際どうすればいいんだろう？
- ✓ 職場で信仰をどう証したらいい？
- ✓ なぜ日本では福音が広がりにくいのだろうか？
- ✓ 海外宣教から日本の教会が学べる事は？

そんな疑問や課題を持っている方はぜひご参加ください！

案内図



※京成大久保駅からタウンバスがでています。教会のすぐ近くに停まります。「本大久保五丁目」

お申込み方法

申込締切9月末日迄

所定の参加申込書にご記入の上、所属教会から当教会までお申し込みください。
参加費は所属教会ごとにまとめて、当日受付でお渡しください。

お問い合わせ

習志野バプテスト教会 牧師：松山英樹

習志野市本大久保 4-17-10

Tel.047-477-8910

ruthdick@mtj.biglobe.ne.jp